

急な医療が必要なとき

赤ちゃんや子どもの病気やケガは、休日や夜に関係なくおそってきます。一刻をあらそう場合がないとも限りません。そんな時あわてず落ち着いた対処が赤ちゃんの命を救う結果につながります。応急処置や救急車の呼び方、休日に診てくれる病院など、日頃から頭に入れていざという時に備えてください。

※休日当番医は、毎月発行の「広報あばしり」をご覧ください。

心臓マッサージ

<乳幼児>



●乳幼児の場合

乳首と乳首を結んだ線の真ん中より指1本分下を指2本で押す。(1分間に100~120回)

<小児>



●小児の場合

乳首と乳首を結んだ線の真ん中を片手で押す。(1分間に80~100回)

人工呼吸法

<乳幼児>



●乳幼児の場合

口と鼻を口に入れ息を吹き込む。(3秒に1回)

<小児>



●幼児と小児の場合

鼻をつまんで口に息を吹き込む。(4秒に1回)
※どの場合も、1回ごとに胸が軽く膨らむ程度に吹き込む。

心肺蘇生法の仕方
(1人で行う場合)

対象	乳幼児 (1歳未満)	小児 (1歳~10歳未満)
圧迫のスピード	1分間に 100~120回	1分間に 80~100回
圧迫回数	2指で5回	片手で5回
圧迫の深さ	1.5~2.5cm	2.5~3.5cm
人工呼吸	1回	1回

※消防署では、病気、事故を想定した救急救命講習を行っています。

●問い合わせ先／

網走消防署

警防課救急係 ☎43-9414

網走消防署

南出張所 ☎43-3016

ポイント

救急車の呼び方

1

119番をまわす

- 「救急車をお願いします。」

4

救急車の誘導

- まわりにいる人が救急車を出迎え、誘導してもらう。

2

場所を告げる

- 地名、番地、アパート名、氏名を告げ、目印があればそれも伝える。

5

救急車が到着したら

- 応急処置の内容を報告する。
- 持病があれば、告げてかかりつけの病院、医師名を告げる。
- 服用している薬があれば、報告する。
- 病院に行く時は健康保険証を持っていく。

3

病気、事故の内容の説明

- どういった状態か、患者の年齢、性別、容体等を落ち着いて伝え、必要により応急処置の指示を受ける。



※携帯電話からの119番通報は北見消防署につながりますので正確な住所を伝えてください。
網走消防署には(0152-43-2221)で直接つながりますので登録しておくことをお奨めします。